

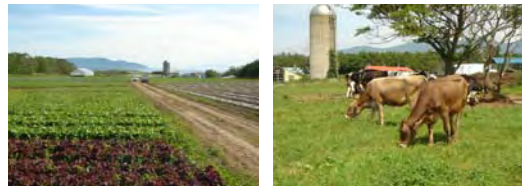


Kiyoshi  
Kurokawa  
×  
Miki  
Watanabe

くろかわ・きよし／東京大学医学部を卒業後、大学院、助手等を経て14年余在米、ペンシルバニア大学に始まりアメリカで研究、教育、診療に従事し、UCLA内科教授。83年に帰国し、東京大学内科教授、東海大学医学部長を経て、日本学術会議会長、内閣特別顧問等を歴任。

わたなべ・みき／小学生のときから「将来、社長になる」と宣言し、24歳に起業。現在ワタミグループは外食事業にとどまらず、介護、農業、環境問題などの分野にて幅広く拡大を続ける。また、NPO活動として、カンボジアやネパールに100校の学校建設や孤児院を運営している。  
<http://www.watanabemilo.net>

Point \* 01,03 ビジネスの観点から、  
農業のピンチをチャンスに変える



政府が推進する構造改革特区のうち「農業特区」は、株式会社が用地を借りて農業に参入することを認める計画。03年には、ワタミファームと千葉県、および千葉県山武市の3者共同で「有機農業推進特区」を申請し認可された。04年には、瀬棚農場（北海道せたな町）でも農業特区が認可され、酪農や鶏卵事業にも進出している。写真はワタミファーム北海道瀬棚農場。



[o:kun] オークン  
ナチュラル・ライフの見本帖

「o:kun」（オークン）とは、カンボジア語で「ありがとう」を意味するコトバ。フリーペーパー「o:kun」は、あたりまえだけど忘れがちな、自分に、他人に、地球に対する「ありがとう」を思い出させてくれる、ココロとカラダにやさしい暮らし方の見本帖です。

\*ワタミグループの国内外食全店舗にて無料配布中

写真：富田里美 文：編集部

# o:kun Talk

波邊美樹のキーパーソンとの語らい

オークン  
トーク  
対談連載  
vol.5

Theme

## 『農業の今、そして未来』



中央合同庁舎 内閣特別顧問室にて

Guest

黒川 清 ●政策研究大学院大学教授

Host

波邊美樹 ●ワタミ株式会社代表取締役社長・CEO

ワタミグループ代表の波邊美樹をホストに、各界で活躍するキーパーソンとアイデアを交換し合う、対談連載「オークン・トーク」。今回は、内閣特別顧問としても活躍される黒川清さんゲストにお迎えし、日本の農業について、熱く語り合っていたいただきました。鋭い視点と柔軟な発想から飛び出す名案の数々とは？

世界的なマーケティングで差別化をはかるべし

——おふたりの農業に対する考えが近しいとお聞きしたのですが？  
黒川 実は、波邊さんに特区の話をお聞きたいと思ってたんです。要は「今の日本の農業政策が一体何になってるんだ？」って話でね。農業

業特区（\*01）にしても、うまく機能していないでしょう。

波邊 ワタミファーム（\*02）でも、有機農業推進特区が認定されているんですが、結局使いづらいんですよ。黒川 そう、そういう具体的な話をお聞きしたかった。波邊さんだったら、大会社の社長さんと違って現場主義だから「コノヤロー！」と思っ

てるはずだと（笑）。

波邊 確かにそれには適任かも（笑）。やはり私は、国民全体の幸せ、というグランドデザイン描かなければと思うんですよ。北海道にあるワタミファーム瀬棚農場では、とうもろこしから餌、堆肥まですべて自分たちで作ったりと、ものすごくコスト高なことをしていたんです。

でも今回の石油価格の高騰からして、あと2年くらい値上がり状況が続けばこっちはほうが安くなる。つまり、国民が安いものを安く買う。ための、非常に大きなひとつのモデルになるんじゃないかと思ってまして。黒川 それは素晴らしいですね。私は「GDP第2位の日本が、グローバル世界でどういう国を目指し、責任を果たすのか」という話だと思うんですよ。要は国際戦略のひとつだから。私は、2050年までには日本が食料、そしてクリーンエネルギー

ギーの輸出国になってる、それくらい大きなビジョンを抱えないとダメだと言ってるんです。

波邊 農業のあるべき姿を追求するということは、環境においても大事。黒川 そう。農業はこれから成長産業であると思うんですよ。要は、世界市場でいかに差別化するかが大事。たとえば今だったら、オーガニック野菜を作って誰に売るのが初めから考えればいい。そういうビジネス感覚を取り入れなきゃいけないんじゃないかな、と。

波邊 ワタミグループは香港、シン

セン、台湾と店を出してるんですが、やっぱり日本食に対する評価は高い。しかもお店していくと、その近辺のスーパーの日本食の値段が上がるんですよ。なんでもないジャガイモを3倍くらいの値段で売ってますから。黒川 結局、信用が違いますしね。中国でも今は恐らく1〜2億人ぐらいの人が中産階級になってきてるし。波邊 地球というものを対象にしてマーケティングしたら、日本という国のブランディングは本当に有効。

なんでそういうことを考えないのか？ やれば必ず日本の農業は活性化されていくわけですよ。ファームで募集すると、若い世代や大卒の農業志願者がいっぱい来る。でも国がむしろ拒絶しようとする。政治が

ちゃんとしないと難しいですよ。黒川 やっぱり世の中を変えるような政治家というのは、ビジョンをわかるように言うこと。そして言い方、誰に向かって言うのか。社長もね。波邊 いやいや、私は、現場でがんばりますよ（笑）。